

2024 年度 CoSTEP 開講式特別講演

安彦良和氏を招いて「安彦良和、歴史マンガを語る。」を開催

【概要】

北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）では、2024 年度開講式特別プログラムを開催します。同日 13 時半からの開講特別講演では、安彦良和（やすひこよしかず）氏をお招きして、「安彦良和、歴史マンガを語る。」を開催します。

【趣旨】

「歴史の中には、現代へのヒントとなるものがあります」

漫画家そしてアニメーターである安彦良和さんは歴史マンガの意義をこのように語ります。

科学では、資料を通して事実というものを追求していきますが、歴史マンガでは歴史資料の客観性の上に作家の想像力を重ねて、新しい歴史観を作っていきます。

歴史マンガは、手塚治虫さんや少女漫画家らによって、「歴史」を語る新たな手法として生み出されてきました。組織で作品を制作するアニメーターを経て、より個人の裁量で創作できるマンガという媒体に惹かれた安彦さんは、創作のテーマに「歴史」を選びました。

「歴史には、場所があり、人がいて、その人がどんなことをしたのかが分かります。そして、当時の人たちが見たであろう稜線は変わっていません」

安彦さんは、日本の古代史の取材のため、奈良県や鳥根県などを旅しています。社会の状況、建物の様子は変わりますが、漫画家の目に映る稜線は変わることなく、そこから想像力をふくらませ、ストーリーを作り上げていくそうです。客観的な資料を読み込むだけでなく、その時代の人たちはどんな景色を見ていたのか、どのように歩いたのかを肌で感じるのが、創作のヒントとなると安彦さんは語ります。

本講演では、これまで多くの作品を生み出されてきた安彦さんに、歴史マンガの創作に至った経緯や、その創作活動に対する想いを伺います。

歴史マンガという創造的な表現方法を知ること、これからの科学技術コミュニケーションの可能性を広げることになるでしょう。

- 【日 程】 2024 年 5 月 11 日（土） 13 時 30 分～15 時 10 分（受付：13 時 00 分から）
- 【場 所】 北海道大学工学部 フロンティア応用科学研究棟 2F レクチャーホール（鈴木章ホール）
- 【主 催】 北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）
- 【対 象】 CoSTEP 受講生／一般市民
- 【募集人数】 150 名（本プログラムは 2024 年度 CoSTEP 開講式の一部である特別講義にあたりませんが、一部一般の方にも公開しております。）

【参加費】 無料／事前申し込み制・抽選

【言語】 日本語（同時通訳なし）

【申込方法】 <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/28982>

【プログラム】

13:30～13:35 開会のあいさつ

13:35～15:05 イントロダクション

安彦良和さんによる講演

質疑応答

15:05～15:10 閉会のあいさつ

【登壇者】 安彦良和さん（漫画家、アニメーター、監督）

聞き手：福浦友香（CoSTEP 博士研究員）

お問い合わせ先

北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター

科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）

担当：福浦友香（ふくうらゆか）・奥本素子（おくもともとこ）

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320

メール fukuura@open-ed.hokudai.ac.jp / okumoto@open-ed.hokudai.ac.jp

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/>

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp



Yoshikazu Yasuhiko



2024年度 北海道大学CoSTEP開講式特別講演

安彦良和、歴史マンガを語る。

講師 安彦良和さん（漫画家／アニメーター／監督） 聞き手 福浦友香（北海道大学 CoSTEP博士研究員）

2024 5.11 sat 13:30-15:10（開場 13:00）

北海道大学フロンティア応用科学研究棟2F レクチャーホール（鈴木章ホール）
北海道札幌市北区北15条西8丁目

参加費：無料／事前申し込み制（申し込み多数の場合は抽選） 定員：150名
本プログラムは2024年度CoSTEP開講式の特別講演として開催しますが、一部、一般の方にも公開いたします。



主催 北海道大学CoSTEP
協力 九月社
北海道大学Ph.Discover
北海道大学リカレント教育推進部
後援 札幌市

安彦良和、 歴史マンガを 語る。

2024 5.11 sat

13:30-15:10

当日プログラム

13:30～13:35

開会のあいさつ

13:35～15:05

イントロダクション

安彦良和さん講演

質疑応答

15:05～15:10

閉会のあいさつ

「歴史の中には、現代へのヒントとなるものがあります」

漫画家そしてアニメーターである安彦良和さんは歴史マンガの意義をこのように語ります。

科学では、資料を通して事実というものを追求していきますが、

歴史マンガでは歴史資料の客観性の上に作家の想像力を重ねて、

新しい歴史観を作っていきます。

歴史マンガは、手塚治虫さんや少女漫画家らによって、

「歴史」を語る新たな手法として生み出されてきました。

組織で作品を制作するアニメーターを経て、

より個人の裁量で創作できるマンガという媒体に惹かれた安彦さんは、

創作のテーマに「歴史」を選びました。

「歴史には、場所があり、人がいて、その人がどんなことをしたのかがわかります。

そして、当時の人たちが見たであろう稜線は変わっていません」

安彦さんは、日本の古代史の取材のため、奈良県や島根県などを旅しています。

社会の状況、建物の様子は変わりますが、漫画家の目に映る稜線は変わることなく、

そこから想像力をふくらませストーリーを作り上げていくそうです。

客観的な資料を読み込むだけでなく、その時代の人たちはどんな景色を見ていたのか、

どのように歩いたのかを肌で感じるのが、創作のヒントとなると安彦さんは語ります。

本講演では、これまで多くの作品を生み出されてきた安彦さんに、

歴史マンガの創作に至った経緯や、その創作活動に対する想いをうかがいます。

歴史マンガという創造的な表現方法を知ることで、

これからの科学技術コミュニケーションの可能性を広げることになるでしょう。

プロフィール

安彦良和 Yoshikazu Yasuhiko

1947年北海道遠軽町生まれ。マンガ家。『機動戦士ガンダム』のキャラクターデザイナー、作画監督、『機動戦士ガンダム ククルス・ドアン』の鳥監督。そのほか代表作に『アリオン』、『ナムジー大國主一古事記巻之一』（第19回日本漫画家協会賞優秀賞受賞）、『虹色のトロツキー』、『王道の狗』（第4回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞）、『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』などがある。現在、シベリア出兵を題材にした『乾と巽—ザバイカル戦記—』を連載中。



表面

左上1 『アリオン』©安彦良和

左上2 『ジャンヌ』©安彦良和

左下1 『王道の狗』©安彦良和

左下2 『ヴィナス戦記』©安彦良和

左下3 『安東—ANTON—』©安彦良和

右上1 『我が名はネロ』©安彦良和

右上2 『ヤマトタケル』©安彦良和

右上3 『機動戦士ガンダムTHE ORIGIN』©創通・サンライズ

右下1 『機動戦士ガンダムTHE ORIGIN』©創通・サンライズ

右下2 『乾と巽—ザバイカル戦記—』©安彦良和／講談社

右下3 『乾と巽—ザバイカル戦記—』©安彦良和／講談社

裏面

中央 『機動戦士ガンダムTHE ORIGIN』©創通・サンライズ

北海道大学 大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター CoSTEP

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 北海道大学 高等教育推進機構 N163A室

<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp> e-mail: costep_office@ml.hokudai.ac.jp

CoSTEPは、科学技術の専門家と市民の橋渡しをする人材を育てる教育研究機関です。

